

成果指標				
成果指標	賦課処理件数に係る事業費			
指標設定の考え方	年間の賦課及び更正件数1件当たりの事業費単価を求めることで、賦課処理事務費等の判断が出来る。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	1000	1000	1000	0
実績	1084	1077	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	A
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>効率的な課税処理に努めたことから1件あたりの事業費は減少しており、一定の効率化は図れた。また、国民健康保険税は、国民健康保険と他の保険との異動や転出・転入・死亡・出生等の異動による税額変更の処理が毎月必要であり、税額の算定方法も複雑であるため、適正課税のためチェック体制を強化しつつ、効率的に実施できるよう検討を行っている。しかし、税額計算は保険資格の異動に伴うものであるため、資格処理担当課との連携が不可欠であることを考えれば、資格担当課と税算定の担当課は同一である方が事務処理上や住民の手続き上で合理的と思われ、今後検討が必要であると考えている。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	5	A
		成果向上の可能性	5	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>相互扶助の精神により成立する国民健康保険制度であり、この制度を支える国民健康保険税は負担の公平を保つことが必要であり、そのためにも納税者から納得を得られる賦課が必須である。税額変更に係る事由は多彩でありことから、保険給付係(資格担当課)との連携を密にし、常に担当者のスキルアップ、算定税額のチェック体制の強化を図らなければならない。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題